

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	加古川ウェルネスパークESCO事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

【基本情報】

基本目標	05 うるおいのあるまち
政策	01 地球環境と地域の環境を保全する
施策	01 地球環境の保全
事業実施期間	平成27年度 ～ 令和5年度
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	その他
関連根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、エネルギーの使用の合理化等に関する法律

【事業概要】

現状と課題	省エネルギー対策の必要性が高まっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川ウェルネスパークの省エネルギー化を図り、環境負荷と光熱費を削減する。
対象 ※誰、何に対して	加古川ウェルネスパーク
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	ESCO設備の運転管理を実施し、エネルギー使用量を監視・判断しながら、より最適な省エネルギー手法の組み合わせを調整する。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	21,762千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	21,762千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	06 環境保全費
細目	070 ESCO事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	21,762千円	21,762千円	21,762千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	エネルギー利用の効率化を図るとともに、環境負荷を低減し、維持管理コストの削減は実現している。令和3年度はベースラインの調整を行った事で、年間削減額が年間削減保証額に達した。今後も使用エネルギー量の削減に向けた施設管理について、さらなる分析が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	加古川ウェルネスパークESCO事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
エネルギー使用量	GJ/年	22,132.74	19,921.445	22,221.858

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ESCO事業報告会	回	1	0	2
活動指標分析結果	ESCO事業者との報告会は、例年、年2回(6ヶ月経過報告・年度報告)実施しており、令和3年度は予定どおり開催した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
エネルギー削減率	%	22.8	30.5	22.5	令和4年度	28.9
成果指標分析結果	ベースラインの調整等を行う事により、目標のエネルギー削減率に達した。					

事務事業名	環境測定機器整備事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境保全課

【基本情報】

基本目標	05 うるおいのあるまち
政策	01 地球環境と地域の環境を保全する
施策	01 地球環境の保全
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑦投資事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	環境基本法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、騒音規制法、振動規制法

【事業概要】

現状と課題	市南部に大規模発生源があることから、機器を整備し監視体制を維持してきた。これら汚染物質の濃度は様々な環境対策の結果、近年では環境基準を達成している。一方で新たな監視項目が設定され、常時監視に係るコストは年々増大している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	大気汚染等の常時監視に係る自動測定機等の環境測定機器を適切に整備することで、一般環境の環境監視体制を維持する。
対象 ※誰、何に対して	市内9箇所を設置する大気環境測定局及び大気汚染常時監視に係る自動測定機、環境基準等の常時監視に必要な環境測定機器
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市内の大気汚染、水環境、騒音及び振動等の状況についての的確に把握し法に基づく環境基準等の常時監視を適切に行うために必要な規模の測定局及び自動測定機等の環境測定機器を整備する。更新計画を策定し、老朽化した測定局や測定機を順次更新する。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	6,590 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	6,590 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	06 環境保全費
細目	035 環境測定機器整備事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	3,817 千円	6,809 千円	6,590 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	二酸化硫黄については5箇所、窒素酸化物については9箇所で監視しており、それぞれの項目については概ね環境基準を満たしている。今後も測定機の更新時期等と合わせて、より効率的・効果的な監視体制とすることが必要である。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	環境測定機器整備事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境保全課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
大気環境測定局の数	箇所	9	9	9
大気汚染常時監視に係る自動測定機の数	台	43	43	43

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
大気汚染常時監視に係る自動測定機の整備台数	台	3	5	6
大気汚染常時監視に係る自動測定機の廃棄台数	台	3	5	6
活動指標分析結果	令和3年度は二酸化硫黄計・粒子状物質計各2台(尾上、平荘)、微小粒子状物質計1台(別府)、微風向風速計1台(尾上)を更新した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
大気汚染常時監視に係る自動測定機の更新台数の累計	台	32	37	46	令和3年度	46
成果指標分析結果	令和3年度は6台(二酸化硫黄計・粒子状物質計各2台、微小粒子状物質計1台、微風向風速計1台)を更新したため目標値が増えた。令和4年度は3台自動測定機を更新する。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	環境教育啓発事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

【基本情報】

基本目標	05 うるおいのあるまち
政策	01 地球環境と地域の環境を保全する
施策	01 地球環境の保全
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律

【事業概要】

現状と課題	環境月間ポスター作成に学校間での温度差が生じているが、募集要項を各学校に配布していただき周知に努めている。かんきょう出前講座は市民や学校に定着している。環境啓発イベントについては、新型コロナウイルス感染症対策を取りながらの開催方法を検討していく必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	ポスターの作成及び自然観察会、かんきょう出前講座等を通じて、環境意識の向上を図る。
対象 ※誰、何に対して	環境月間啓発ポスターの募集は市内の小学4年生から中学3年生までが対象。自然観察会やかんきょう出前講座等については子供から大人まで対象であり、特に年齢の限定はしていない。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	環境月間啓発ポスターの市内小学校、中学校への募集及び自然観察会の実施。省エネルギー等をテーマにかんきょう出前講座、環境イベントを開催。緑のカーテンを普及促進。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	597 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	10 千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	587 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	06 環境保全費
細目	010 環境教育啓発事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	679 千円	537 千円	597 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>環境ポスターの募集を実施することで、子どものころから環境問題への取組みを考える機会を創造していくことで啓発が広がるものとする。環境啓発、環境教育は今後も継続して実施することが重要であり、今後も、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、市民活動団体や事業者とも連携し、啓発を進めていく必要がある。</p>

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	環境教育啓発事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市内小学4年から中学3年までの児童生徒数	人	14,239	14,229	14,187
加古川市人口(小学生以上)	人	249,490	248,976	248,628

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
広報かこがわ関連記事掲載回数	回	6	4	8
環境教育啓発事業の実施回数	回	13	5	5
活動指標分析結果	広報かこがわに加え、新聞、ポスター等を活用した周知を積極的に行った。イベントは令和2年度は中止していたが、令和3年度はかんきょう出前講座ともに開催できた。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
環境月間啓発ポスター応募点数	枚	124	143	156	令和4年度	143
自然観察会参加者数	人	68	0	34	令和4年度	40
環境教育啓発事業の参加者数	人	4,189	409	441	令和4年度	500
成果指標分析結果	環境月間ポスターの優秀作品の選定を行い、市内施設に展示会を行うことで広く周知を図っているが、令和3年度は、コロナ禍による施設使用ができなかった。市民活動団体と連携した各種環境イベントは今後も対策をとりながらの啓発事業の実施について検討していく必要がある。					